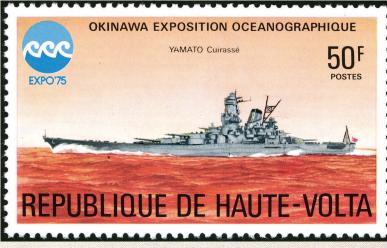
美な船切手の数々をお楽しみください。(編)す。帆船や軍艦、そして豪華客船など雄大でいただき、『船切手 ベスト50!』をお届けし。今回はJPS船切手部会の皆さまにご協力毎年、好評をいただいている『ベスト50!』特



日本戦艦「大和」(オートボルタ・1975年)

沖縄海洋博を記念して発行された日本艦船6種のうちの1枚。「大和」の切手は世界各国から数多く発行されているが、この切手では1941年12月竣工当時の公式運転中である英姿が精巧に描かれており、第1位に選ばれたのも頷ける。史上最大の戦艦であったが、戦歴は華々しさがなく、1945年4月、米空母艦載機の攻撃を受け、東シナ海で沈没した。[160%]

1位に輝いたのは戦艦「大和」を 精巧に描いたオートボルタの切手



フランス帆船「フランス 2」(フランス・1973年)

横型の切手にぴったり収まる5本マストの帆船、色彩も良く、きれいな切手。 切手下部に「フランスII」とあるが、実際の船名は「フランス」。1890年建造の、同 じ5本マストのイギリス建造の帆船に同じ船名があるため、通常「2」を付けて区 別している。貨物船だが、豪華な客室やピアノも装備していた。[180%] 切手20%拡大。 ※2~3~、特記外、

3 位



ハトシェプスト女王の船 (エジプト・1926年)

国際海運会議記念として発行された 切手で、ハトシェプスト女王の船は紀 元前15世紀のカルナック神殿の壁画 に描かれた30人の漕ぎ手による船。 石材、木材、食料などを運んだと言わ れており、船の歴史を語る上では欠か せない船となっている。





フランス客船「ノルマンディー」(フランス・1935年)

フランス政府が財政援助をして建造した客船で、1932年の進水式に は大統領が出席。1935年に就航し、これを記念して発行された切手で ある。フランス客船として、唯一ブルーリボン賞(大西洋を最速で横断 した船舶に与えられる賞)を獲得した。時速31.20ノットが最高記録で ある。落ち着いた色彩で、人気の高い切手。



5位

アメリカ戦艦「ミズーリ」(トルコ・1946年)

「大和」に対抗しうる戦艦として1944年竣工。残念な がら、巨砲対決は実現しなかったが、1945年9月、 対日戦勝利の降伏調印式を同艦の艦上で行う栄誉を受 ける。現在は真珠湾内に記念艦として繋留されている。 切手はイスタンブールに訪問した際の記念で発行され た3種のうちの1枚。



「咸臨丸」(日本・1960年)

徳川幕府が1854年にオランダに発注建造した機帆船。日米修好通商条約調印の際、勝海舟を艦長として渡米しており、同条約100年記念として発行された。原画は咸臨丸乗務員の鈴藤勇次郎が描き、渡米時の軍艦奉行・木村摂津守に贈呈された。その後、木村が海軍に寄贈し、東京・原宿にあった海軍館で展示されたが、第2次世界大戦敗戦時のドサクサで行方不明となった。[200%]



7位

スウェーデン帆装軍艦「ワサ」(スウェーデン・1969年)

1627年、期待を担って進水した王立海軍の「ワサ」は、翌 1628年8月、ストックホルムを出航した直後、強風に煽られ て左に傾き沈没してしまった。国王ダスタフ2世が誇らしく 見守る中の呆気ない遭難であった。[170%]

6位と9位に日本切手が登場!



8位

ドイツ客船「ドイッチュラント」 (ドイツ・2010年)

ハンブルク・アメリカ・ラインの4本煙突の豪華客船。ブルーリボン賞をめざして1900年にドイツ皇帝臨席の下、進水。見事、期待に応えて、西航・東航ともにブルーリボン賞を獲得。建造時は世界で2番目に大きい客船で、第1次世界大戦で生き残ったドイツ唯一の大型客船でもある。[170%]

【2万種超える船切手から"ベスト50!"を選出】

それは7月9日のことであった。編集部から12月号のカラー特集として、『JPS船切手部会が選ぶ"船切手"ベスト50!』の執筆依頼がきた。19日の船切手例会で提案したところ、賛成多数で引き受けることとなった。

あまり時間がないので、まずは22日に会員へ選定 依頼文と投票用紙を郵送した。2万種を超えると言 われる船切手の中から、選ぶ条件として①実際に未 使用を所有している切手、②初心者にわかりやすい 美しい切手、③どの国のどの切手か特定できるとい う3条件を付け、1ヵ月以内の返送をお願いした。

部会員からの返送率は42%で、約270種類の切手

が候補に挙がり、3名の選定委員が最終的な選定にあたった。まず最多投票を集めた1位は文句なし。第2グループには4枚の切手が挙がったが、ここで問題が発生。同図案異額面切手の取り扱いを想定していなかった。投票では同図案の3額面の切手が票を獲得しており、これらは図案を優先して票をまとめて集計した。第3グループは25枚。このため、残り20枚(31~50位)を240枚から選定委員が熟慮の末、選ぶこととなった。

【内訳は帆船23枚、客船14枚、軍艦11枚、他2枚】

船切手は発行種類が多すぎるため、個人が完集を 目指すことは少なく、集める範囲を絞る傾向がある。 例えば「帆船」、「客船」、「軍艦」などが代表例である。



日本客船「浅間丸」(日本・1976年)

日本郵船が我が国の代表的豪華客船として、1929年に建造。「太平洋の女王」の名を得て活躍するも、海軍に徴用され、1942年、外交官や民間人を帰国させるため日米交換船に使用された。1944年11月、マニラから呉に航行中、東沙(とうさ)諸島沖でアメリカ潜水艦の雷撃を受け、沈没した。船シリーズ12種のうちの1枚。

コロンブスの旗艦「サンタ・マリア」 (スペイン・1930年)

1492年、コロンブスの船隊「サンタ・マリア」、「ニーナ」、「ピンタ」の3隻が初めて大西洋を横断し、西インド諸島に到達した。コロンブスはその後2回、合計3回航海を行っているが、アメリカ本土には未到達であった。16種セットの中の1枚。[150%]

※4~5 で、特記外、切手180%拡大。

10位

CENTIMOS CENTIMOS

WAS LITO LONDRES

AL SANCHEZ TODA

個人別の投票を見ると、やはり部会員の好みの分野の切手が多くなっている。ベスト50の内訳を見ると、帆船切手が23枚、客船切手が14枚、軍艦切手が11枚、その他が2枚となった(ここでは帆装軍艦も帆船としてカウント)。収集家の傾向を反映した、偏らない結果となる。天の配剤か。

発行国別に見てみよう。日本が6枚でトップ。やはり日本切手に愛着を持っている方が多い。本当は同じシリーズ切手から複数枚を選びたくなかったが、船シリーズの客船「浅間丸」(9位)と「遣唐使船」(23位)に複数票が入り、原則はもろくも崩れる。なお、客船「天洋丸」にも票があった。さすがに3枚はまずい

と考え、意図的に外したが、このシリーズの人気の 高さがうかがえる。

2位にフランスの5枚。さすがファッションの国 である。デザイン的に日本人収集家に人気が高い国、 ということであろう。

3位をアメリカ・イギリス・ドイツが3枚で分かち合う。原則が崩れたので、イギリスとドイツの同一船シリーズが2枚ずつ入る。これも人気シリーズということがうかがえる。上位5ヵ国は、実際の船の世界と同様、切手の世界でも大国と言って良いだろう。アメリカにドイツ客船を描く切手(45位)が入っているのは、ご愛嬌。

コラム① 英領ギアナ 4 セント/1856年

この切手は額面 4 セントだが、同図案(帆船)、同刷色(マゼンタ)の 1 セント切手が現存数 1 枚の世界的珍品なのはご存じのとおりである(今年6月に約9億7,000万円で落札/詳細8月号27&39分参照)。 4 セント切手(右)も稀少品で、入手困難なものとなっている。

当時、イギリス本国からの正式な切手の到着が遅れたため、急遽現地で少数を印刷した粗末な切手で、偽造防止の必要上、すべてに郵便局員のイニシャルが記されている。



中央に描かれ ている帆船は、 イギリスのリバ プールとギアウ のジョーが航した 商船「サンドバ ッジ」。



ネルソン提督と「ヴィクトリー」(イギリス・1982年)

ネルソン提督の肖像と旗艦「ヴィクトリー」を描く海の遺産シリーズ5種のうちの1枚。ポーツマス軍港で保存されている現存唯一の戦列艦(帆船時代の戦艦)で、形式上は現在もポーツマス軍港の港湾司令官の旗艦として提督旗を掲げる世界最古の現役艦でもある。(下コラムに関連記事)



13位

フランス潜水艦「スルクーフ」 (サンピエールミクロン・1962年)

1934年の竣工当時、世界最大の巡洋潜水艦で、203ミリ連装砲と水上偵察機を搭載していた。1942年、サンピエールミクロン島占領で活躍するも、カリブ海でアメリカ貨物船と衝突し、沈没。



12位

「クラーモント」(アメリカ・1909年)

世界最初に商業的に成功した蒸気船で、 世界最初の潜水艦「ノーチラス」を設計し たロバート・フルトンによる製作。ハド ソン河就航100年記念として発行。左に 描かれているのは、帆船「ハーフムーン」。





客船「グレート・ブリテン」(イギリス・1969年)

1843年、スクリュー推進の巨船として建造。それまでの外輪船での速度は8ノット程度だったが、スクリュー式となったことで速度は11ノットへと伸びた。以後、今日まで推進器はすべてスクリュー式となり、船舶改革の大きな節目となった船である。

オーストラリアとスウェーデンが2枚で6位を分け合い、残りの国は1枚ずつとなる。当初、さまざまな切手に票が分散し、順位を決めることが困難になるのではと心配をしていたが杞憂となる。

【帆船:エジプトの船や大航海時代の船など】

種類別ではトップの帆船から。船の歴史を語ると

き、エジプトの船は初期に出てくる。その中でクフ 王のピラミッド近くから出土した太陽の船とハトシ ェプスト女王の船(2位)は欠かせない。このうちの1 隻が選ばれたのは順当である。

北方型の船として、ヴァイキング船(21位)とハンザ 同盟のコッグ(16位)が入った。この北方の技術と、今

□ラム② トラファルガー海戦を描く小型シート/イギリス・2005年

1805年、ネルソン提督がフランス・スペインの連合艦隊と激戦の末、トラファルガーでこれを撃破し、イギリスの制海権を確立したのが「トラファルガー海戦」である。右は海戦200年記念に本国イギリスで発行された小型シートで、旗艦ヴィクトリー艦上で戦死したネルソン提督も描かれている(上段中央の切手/ネルソン負傷の場面)。



切手6種を収めたトラファルガー海戦200年記念小型シート。[45%]

呼ばれる江蘇省の荷船 るロンドン版7cとなった。 ているのは、 普通切手のため版や額面が多種なジャンク(中華民国・1913年) 投票でも割れていたが、 長江を帆走する沙船と 定評のあ が多種あ 描かれ

17位

18位

19位



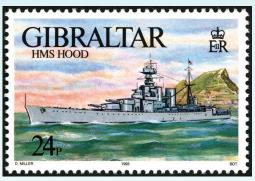
16位

と呼ばれた貿易船を描いている 通切手10種にハンザ同盟の「コッ ハンザ同盟に加入していたため、 目由都市時代に切手を発行。 ダンツィヒは現在のポーランドの 第1次世界大戦後の



フランス客船「フランス」(フランス・1962年)

フレンチ・ライン社が1961年に竣工させた豪華客 船で、目立つ特異な2本煙突、流れるようなスマ-トな船体美、堂々たる風格は全世界の注目を浴びた。



イギリス戦艦「フッド」(ジブラルタル・1993年)

イギリス海軍の期待を担って1920年に竣工した戦艦。 1941年5月、ドイツ最大戦艦「ビスマルク」との砲撃戦で、 火薬庫に砲弾を受け撃沈して敢えなく北海の藻屑と消えた。



フランス戦艦「クレマンソー」(フランス・1939年)

ドイツのビスマルク級戦艦に対抗するため、フラン ス最大の戦艦として計画起工されたが、第2次世界大 戦の勃発により、建造中止となった幻の戦艦である。



セットで、 景が白のため、 この愛らしさが選ばれた理由であろう。 シリーズである 船首横にある目玉に注目。 もう1枚にも投票があった人気にめ、一層目立つ船である。3種 何と言っても、

背

-国のジャンク(シンガポール・1972年

回は入らなかった地中海の南方の技術が合体して、 大航海時代を切り開く新たな船が出現するのである。

大航海時代を代表するアメリカ大陸への航海のコ ロンブス(10位)、インド航路のガマ(33位)、初の世界 周航を成し遂げたマゼラン(34位)、そして科学的大航 海のクックの船(27位)が入っている。それぞれ欠けた ら困る船ばかりである。

「ワサ」(7位)、「ヴィクトリー」(11位)、「カティー・サ

ーク (**32位**)、「チャールズ・W・モーガン (**44位**)の 4 隻は、実物が現在も保存されている。また「サンタ・ マリア」(10位)、「エンデバー」(27位)、「咸臨丸」(6位)は 復元船があり、「ゼーヴェン・プロヴィンシェン」(40 位)には復元計画がある。

客船では、大西洋航路を一番早く走った船に贈ら れるブルーリボン賞獲得船が目立つ。「クロンプリン ツ・ヴィルヘルム」(45位)、「ドイッチュラント」(8位)、 「オイローパ」(35位)、「レックス」(39位)、「ノルマンデ

郵趣☆2014年 12 月 (887) 7



ヴァイキング船(アイスランド・1930年)

嵐の中を進むヴァイキング船で、現実には このような悪天候の中で帆を揚げるのは無 謀。おそらくドラッカーと呼ばれる軍船で、 本来なら船尾の部分は外側に曲がっている。



25位

22位

等として、その優雅な白い帆が見られる。 観光帆曳船として復活。今も霞ヶ浦の風にコーし、戦後、姿を消したが、昭和4年明治13年に茨城県霞ヶ浦の漁船としてデ明治13年に茨城県で浦の漁船としてデ



23位 「遣唐使船」(日本·1975年)

遺唐使とは日本が唐に派遣した 使節で、その往復に使用された船 が遣唐使船。船切手シリーズ12種 のうちの1枚。



24位

ァープホナー船「アントワネット」 (フランス・1971年)

チリ硝石をヨーロッパへ運ぶ目的で、1897年に建造された「バーク」と呼ばれる帆船。



ドイツ客船「インペラトール」 (ドイツ・2010年)

1913年6月に処女航海。第1次世界大戦後、賠償船としてイギリスに引き渡された。



日本戦艦「比叡」 (日本・1935年)

満洲国皇帝御来訪の際の御召艦で、同記念での発行。





クック船長の帆装軍艦「エンデバー」 (オーストラリア・1970年)

イギリスの偉大なる海洋探検家、通称キャプテン・クック の第1次航海でのオーストラリア探検200年を記念した切手。

ィー」(4位)、そして「ユナイテッド・ステーツ」(50位) の6隻である。ドイツ客船が3隻も入っているのに、 賞獲得船が一番多いイギリス客船がないというのは どうしたことだろう。

「グレート・ブリテン」(14位)、「タイタニック」(49位)、「クイーン・エリザベス2」(28位)の3隻はイギリス船だが賞を獲れなかった。しかし、それぞれ歴史に名を残す名船である。「イル・ド・フランス」(43位)、「オイローパ」(35位)はカタパルト郵便(郵便物をより早く届けるため、船上のカタパルトから軽飛行機を発進させて運んだ郵便)を実施した船として、郵便史にも登場する。



イギリス客船「クイーン・エリザベス 2 」 (イギリス・1969年)

戦後を代表するクルーズ客船として本船を描く切手は、 多数の国から発行されている。今回は5種類の切手に投票 があったが、本国、イギリスの切手が一番人気を集めた。

【軍艦:オートボルタとマリの切手に高評価】

軍艦に移ろう。沖縄海洋博を記念して、オートボルタ(現ブルキナファソ)が1975年に発行した6種の船切手は衝撃的だった。今回は3隻に票が投じられたが、最多得票を集めた戦艦「大和」切手が1位となったのは当然であろう。日本切手ではない、日本の船を描く切手が1位というのは、少しうっ積した感がある。まあ、横須賀の「三笠」でさえ、日本切手に登場していないという悔しさが、この結果となったとも言える。

「ミズーリ」(5位)も日本の歴史に深く関わっている。1945年9月2日、この戦艦の上で、日本は降

30位

「黒船」(日本・2003年)

日本を開国させたアメリカ東インド艦隊の ペリーが、2回目に浦賀に来航した時の旗艦 「ポーハタン」(黒船/「下田港停泊の図」より)。 江戸開府400年シリーズとして発行。[90%]



琉球「ハーリー」(琉球・1969年)

沖縄の各地で開催されているボートレ -スで、約600年前に中国から琉球王朝に 伝来したと言われる。琉球に伝わる芸 能・行事5種のうちの1枚。

※8~11%、特記外、切手110%拡大。

32位

コラム③ 潜水艦郵便用切手/スペイン・1938年

スペイン内戦の最中、反乱軍の攻撃で共和国が分断されたため、両 地域を連絡する必要上、潜水艦による輸送が行われた。この潜水艦に よるバルセロナとミノルカ島間の郵便物輸送のために発行されたの が、潜水艦を図案とする単片6種と小型シート(下)である。



潜水艦郵便用として 発行された小型シート。 潜水艦を描く切手3枚 が収められている。こ の小型シートと単片6 種は、額面の倍額で、バ ルセロナの郵便局のみ で発売された。[40%]





34位

ロシア戦艦「ポチョムキ れ画 3 る戦 (マリ・1971 ズ種に と投票が 4 種 セッ -のう



イギリス帆船「カティー・サー ク」(オーストラリア・1984年)

ウィスキーの銘柄として、また 保存船としても著名な船。本国イ ギリス切手を差し置いての入選。



ポルトガル帆船「サン・ガブリエル」 (ポルトガル・1969年)

1498年、ヴァスコ・ダ・ガマは僚船 2 隻とともに船隊を率いてインドに至り、 東方航路の発見に貢献した。



マゼランの帆船「ヴィクトリア」 (仏領南極地方・1973年)

初めて世界を1周した帆船ではあるが、 船型がはっきりせず、今までに発行された 切手はすべて想像図である。その中で一番 印刷がきれいな切手。

伏文書に署名したのである。「比叡」(26位)は、数少な い戦艦を描く日本切手として意味があるだろう。下 記の「ポチョムキン」を除けば、戦艦はすべて第2次 世界大戦時のものである。戦争の記憶が風化してい ない証明でもあるか。

「ポチョムキン」(31位)は、映画史に燦然と輝くサイ レント映画「戦艦ポチョムキン」で知られる。現実に

存在した戦艦で、ロシア革命後、ウクライナ国旗を 掲げたこともある。ロシアからも切手が発行されて いるが、このマリ切手が一番だ。マリは「ポチョムキ ン」を含む4種の切手を発行したが、その中の3種に 投票が入るほど、船切手収集家から高い評価を受け るセットでもある。

「エムデン」(38位)は、第1次世界大戦で活躍した巡





ドイツ客船「オイローパ」 (ドイツ・1937年)

北ドイツ・ロイド社は、「ブレーメン」、「オイローパ」2隻を近代的なデザインに仕上げ、それぞれブルーリボン賞を獲得した。両船は、カタパルト郵便の実施でも有名。[120%]



36位 アメリカ巡洋艦「ヒューストン」 (キャナル・ゾーン・1939年)

1930年竣工、1942年3月に バタビア沖海戦で沈没した。パ ナマ運河を通過する軍艦美、背 景との調和が実に良い切手。パ ナマ運河開通25周年記念として 発行された16種のうちの1枚。



37位

39位

貿易船「ジョン・ヤコブ」 (ベルギー・1973年)

18世紀に活躍した貿易船。アントワープに、この船の模型が残されている。オスタンド貿易会社250年記念の1枚。[原寸]





ドイツ巡洋艦「エムデン」 (英領インド洋地域・1991年)

1909年の竣工後、すぐに東洋に派遣され、第1次世界大戦勃発により通商破壊戦に従事し、多数の軍艦と商船を撃沈。同艦は軍艦史上に不朽の名を残す。



イタリア客船「レックス」 (キューバ・1936年)

1932年竣工。1933年にイタリア客船で唯一、ブルーリボン賞を獲得している。 第2次世界大戦中の1944年、イギリス空 軍機による砲撃で沈没。



オランダ帆装軍艦 「ゼーヴェン・プロヴィンシェン」 (オランダ・1957年)

英蘭戦争の時代、オランダの名将 デ・ロイテル提督の旗艦である。





ドイツ戦艦「ビスマルク」 (シエラレオネ・1995年)

1940年に就航した当時世界最大の戦艦。イギリス艦隊と遭遇し、戦艦「フッド」を轟沈させるなどの戦果を挙げた。



42位

スウェーデン客船 「グリップスホルム」 (スウェーデン・1958年)

1957年に建造されたクルーズ客船で、日本にも再三来 航している。[120%]



43位

フランス客船「イル・ド・フランス」(セントビンセント・グレナディーン・2002年)

カタパルト郵便を最初に実施したフランスの客船で、1928年から1930年までの3年間行われた。

洋艦である。ドイツ東洋艦隊に所属し、中国の青島港にいたが、日本が参戦したため、艦隊が母国を目指す中、単独でインド洋を暴れ回った。その英雄譚は今も軍艦ファンの心を引きつけており、今回の選定となった。「ジョン・F・ケネディ」(46位)は、多分に現駐日アメリカ大使に敬意を表した面がある。また「オビ」(48位)は、南極観測船「宗谷」を助け出してくれた、という恩義から選出された面もあるだろう。

最後に選ばれなかった船切手について書いておきたい。19世紀発行の船切手が選ばれていない。これは冒頭の3条件を満たす切手が少なかったためと思われる。なお、20世紀の切手ではカタログ価の高い切手はサンピエールミクロンの「スルクーフ」(13位)しか入らず、比較的手に入れやすい切手が多い。

〔本文〕山口純一、〔切手解説〕中島好行、山口純一、脇村友雄(五十音順)



アメリカ捕鯨船「チャールズ・W・ モーガン」(アメリカ・1971年)

アメリカで現存唯一の捕鯨船で、 多量の鯨油を運搬した。現在も運航 可能で、今年も航海を果たしている。

コラム@ 戦艦「三笠」のPスタンプ/オーストリア・2006年

46位

日本切手では「三笠」を描く切手はな いが、オーストリアからPスタンプが 発行されている。「三笠」はロシア帝国 の脅威により、イギリスのヴィッカー ス社に発注され、1902年竣工。1905 年5月、日本海海戦では東郷平八郎大 将座乗の旗艦として勝利を得る大活躍 で、現在も横須賀に記念艦として保存 されている。なお、この切手はオース トリア郵政に依頼して作製されたもの。



戦艦「三笠」のPスタンプ。[65%]





ドイツ客船「クロンプリン ツ・ヴィルヘルム」 (アメリカ・1913年)

北ドイツ・ロイド社の豪華客 船で1901年に竣工。第1次大戦 後、アメリカへの賠償船となる。



アメリカ空母「ジョン・F・ケネディ」 (バルバトス・1994年)

故ケネディ大統領の名を冠した空母で、 1967年の進水式には令嬢キャロライン (現駐日アメリカ大使)が出席している。



カナダ帆船「ロイヤル・ウィリアム」 (カナダ・1933年)

180馬力の蒸気船として初めて大西洋横 断に成功したことで名高い。大西洋横断 100年記念として発行。





は氷海に閉じ込めら 7連の砕氷艦で、195**(ソ連・1956年)** うれた砕 9 5 7 生



イギリス客船「タイタニック」 (ユーゴスラビア・1992年)

この切手は、沈没のシーンを 描いた最初の切手となる。



アメリカ客船「ユナイテッド・ステーツ」 (モナコ・1953年)

欧州客船界に遅れをとっていたアメリカが1952年 建造した客船で、同年にブルーリボン賞を獲得。

「JPS船切手部会」のご案内

当部会は1974年の創立で、部会報を通 じて、船切手に関する情報交換に努めてま いりました。発足当初は手書きの会報でし たが、1984年からワープロ化、2002年 より会報のオールカラー化を実現しまし た。1988年からは例会も開催しています。 創立以来、世話人が変わらず、多少マン ネリ化していますので、ぜひとも新しい方 に入会いただき、新たな船切手部会を創造

していただければと願っています。

【船切手部会概要】

■会員数:19名(2014年5月17日現在)

■例会:隔月(奇数月第3土曜日14:50より、目

白の切手の博物館3階にて開催) ■部会報:『船切手部会会報』 隔月発行(奇数月)

■年会費:2,000円

【お問い合わせ】

〒212-0058 川崎市幸区鹿島田2-7-36

山口純一

TEL&FAX: 044-544-3976 Eメール: funestamp@yahoo.co.jp ▲部会報『船切手部会報』

**** 船切手部会会報 *****

(年6回/奇数月発行)